出雲市全体 業種別景況 (令和7年7月~令和7年9月期)

	上・採算・資金繰り等	の状況												(%)
							朝の状況						月の見通し	
				7期(令和7年1月~ 今期(令和7年4月					月~6月期)と比· ~6月期)の状況				~6月期)と比べ ~9月期)の見通	
			1	_	\downarrow	D•I	1	_	↓	D · I	1	_	ļ	D •
1	売 上	額	28.7	37. 9	33. 3	△ 4.6	27. 7	37. 6	34.7	△ 6.9	23. 7	52. 0	24. 3	△ 0
2	採算(営業	利 益)	21.4	48.0	30.6	△ 9.2	19.8	51.2	29. 1	△ 9.3	18.6	58. 1	23. 3	Δ 4
3	資 金	繰り	6. 9	75. 1	17. 9	△ 11.0	9.3	68.6	22. 1	△ 12.8	8.7	75. 0	16. 3	Δ 7
4	業	況	16.0	60. 1	23. 9	△ 8.0	17. 9	56. 8	25. 3	△ 7.4	12. 3	62. 3	25. 3	△ 1
			1	今期の状況		1			注)	↑増加・上	昇・好転 -	- 不変 ↓	減少・低下・見	悪化
				1										
			過剰気味	充足	不足									
5	人	手	1.7	50.6 実施	47. 7									
			(採算十分)	(採算不十分)	不実施									
6	価 格	転 嫁		48. 5	33. 7									
			実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施									
7	賃 上													
	<u>д</u>	け	25. 7	26. 3	48. 0									
		(†	25. 7	26. 3	48. 0							(9/)		
	規設備投資	ij		26.3	48. 0]					実施	(%)	1	
		t)	実施		土地	建物	機械設備	車輌・重機	T機器・システ .	その他]	
新		期	実施 し 5.	· 計画		建物 12.7	機械設備 22.5	車輌・重機 27.5	T機器・システ、 30.4	2. 9	して! 49	・計画 いない 9.0		
新 :	規設備投資		実施 し 5.	・計画 た	土地					, , ,	して! 49	・計画 いない		
新 :	規股備投資 今 来 営上の問題点	期	実施 し 5.	・計画 た 1.0	土地 3.9 0.0	12.7	22. 5	27. 5 31. 0	30. 4 40. 8	2. 9	L71 49 62	・計画 いない 9.0 2.2	(%)	1
新 :	規 股備投資 今 来	期	実施 し 5.	・計画 た 1.0	土地 3.9	12. 7	22. 5	27. 5 31. 0	30. 4	2. 9	して! 49	・計画 いない 9.0	(%) 3位	
新 1 2 経	規 設備投資 今 来 営上の問題点 経営上の 需要の停滞、	期 期 間題点 受 注 · 客	実施 し 5: 3* 数の減少	・計画 た 1.0 7.8 1位 37.6	土地 3.9 0.0	12.7 12.7 3位 6.8	22. 5 5. 6	27.5 31.0 経営上0 商品(事	30.4 40.8 20問題点	2.9 9.9 庫 の 過 剰	してV 45 62 1位 0.0	・計画 いない 3.0 2.2 2位 0.0	3位	
新 1 2 経 1 2	規 股備投資 今 来 営上の問題点 器 要 の 停 滞 、 新 規 参 入 業 者 や	期 期 問題点 受 注 · 客 大 型 店 と	実施し 5.33 数の減少 数の減少	・計画 た 1.00 7.8 1位 37.6 2.9	土地 3.9 0.0 2位 8.8 3.8	12.7 12.7 3位 6.8 2.0	22. 5 5. 6 9	27.5 31.0 経営上 商 品 (數 支 払 利	30.4 40.8 の問題点 4 品) 在 息 の	2.9 9.9 庫の過剰 負担増	して) 45 62 1位 0.0 0.0	・計画 いない 3.0 2.2 2位 0.0 4.4	3位 1.4 2.0	
新: 1 2 経 1 2 3	規 股備投資 今 来 営上の問題点 経営上の 需 要 の 停 滞 、 新 規 参 入 業 者 や 受 注 (客	期 期 関題点 受 注 · 客 大型店と) 単 価	実施し 5. 3. 数の減少 の競合激化 の低下	・計画 た 1.00 7.8 1位 37.6 2.9 1.8	土地 3.9 0.0 2位 8.8 3.8 3.1	12.7 12.7 3位 6.8 2.0 2.7	22. 5 5. 6 9 10	27.5 31.0 経営上 商品(數 支払利	30.4 40.8 の問題点 品)在 息の 金の 回	2.9 9.9 庫の過剰 負担増	して) 45 62 1位 0.0 0.0	・計画 いない 9.0 2.2 2位 0.0 4.4 0.6	3位 1.4 2.0 2.7	
新 1 2 経 1 2 3 4	規 股備投資 今 来 営上の問題点 経営上の 需 要 の 停 滞 、 新 規 参 入 業 者 や 受 注 (客 原 材 料 4	期 期間題点 受 注 · 客 ・大 型 店 と 。) 単 価 等 の 。	実施し 5.5 3.3 数の減少 の競合激化 の低下	・計画 た 1.0 7.8 1位 37.6 2.9 1.8 2.4	土地 3.9 0.0 2位 8.8 3.8 3.1 2.5	12.7 12.7 12.7 3 位 6.8 2.0 2.7	22. 5 5. 6 9 10 11	27.5 31.0 経営上 商品(事 支 払 利 売 掛	30.4 40.8 の問題点 は品)在 息の 金の 回	2.9 9.9 庫 の 過 剰 負 担 増 目 収 難 借 入 難	してい 45 62 1位 0.0 0.0 1.2 0.6	・計画 いない 9.0 2.2 2位 0.0 4.4 0.6 1.3	3位 1.4 2.0 2.7 2.0	
新 1 2 経 1 2 3 4	規 設備投資 今 来 営上の問題点 需要の停滞、 新規参入業者や 受注(客 原材料。	期間原 受注・客 ・大型店と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ の こ 部 の の の の の の の の の の の の の の の の の	実施	・計画 た 1.0 7.8 1位 37.6 2.9 1.8 2.4	土地 3.9 0.0 2位 8.8 3.8 3.1 2.5 23.3	12.7 12.7 12.7 3.位 6.8 2.0 2.7 1.4 9.5	22. 5 5. 6 9 10 11 12	27.5 31.0 経営上(商 品 (集 支 払 利 売 掛 事 業 資	30.4 40.8 の問題点 は 品) 在 息 の 金 の 巨 金 の の 確 保・	2.9 9.9 9.9 単 負 担 増 団 収 難 借 入 難 定 着 発	1位 0.0 0.0 1.2 0.6	・計画 いない 9.0 2.2 2位 0.0 4.4 0.6 1.3 7.5	3 位 1. 4 2. 0 2. 7 2. 0 14. 2	
新 1 2 経 1 2 3 4 5 6	規 設備投資 今 来 営上の問題点	期 期 受 注 · 客 ・大型店と)) 単 価 等 の 調 価 格 以外の経	実施し 5: 数の減少 数の減少 の 低下 離 の 上昇	・計画 た 0 7.8 1位 37.6 2.9 1.8 2.4 11.8 8.8	土地 3.9 0.0 2位 8.8 3.8 3.1 2.5 23.3	12.7 12.7 12.7 3.位 6.8 2.0 2.7 1.4 9.5	9 10 11 12 13 14	27.5 31.0 経営上 商 品 (黎 支 払 利 事 業 資 徒 業 員	30.4 40.8 の問題点 は 品) 在 息 の 金 の 巨 金 の 回 金 の で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2.9 9.9 9.9 種 の 過 刺 増 埋 難 産 産 着 難 難 職 の を 朽 化	1位 0.0 0.0 1.2 0.6 17.1 3.5	・計画 いない 9.0 2.2 2位 0.0 4.4 0.6 1.3 7.5 8.2	3位 1.4 2.0 2.7 2.0 14.2	
新 1 2 経 1 2 3 4	規 設備投資 今 来 営上の問題点 需要の停滞、 新規参入業者や 受注(客 原材料。	期 期 型 受 注 · 客 ・大型 店 と ・) 単 価 等 の い 以 外 の 経 転	実施	・計画 た 0 7.8 1位 37.6 2.9 1.8 2.4 11.8 8.8 2.4	土地 3.9 0.0 2位 8.8 3.8 3.1 2.5 23.3	12.7 12.7 12.7 3.位 6.8 2.0 2.7 1.4 9.5	22. 5 5. 6 9 10 11 12	27.5 31.0 経営上(商 品 (集 支 払 利 売 掛 事 業 資	30.4 40.8 の問題点 は 品) 在 息 の 金 の 巨 金 の の 確 保・	2.9 9.9 9.9 単 負 担 増 団 収 難 借 入 難 定 着 発	1位 0.0 0.0 1.2 0.6	・計画 いない 9.0 2.2 2位 0.0 4.4 0.6 1.3 7.5	3 位 1. 4 2. 0 2. 7 2. 0 14. 2	

≪建 設 業≫															
1. 売上・採算・資金繰り等の状況	1. 売上・採算・資金繰り等の状況 (%)														
				Ⅱ 来期	期の見通し										
			~3月期)と比べ]~6月期)の状況			三同期(令和6年4 今期(令和7年4月					~6月期)と比べ ~9月期)の見通				
	1	_	↓	D•I	1	_	↓	D•I	1	_	1	D•I			
1 売 上 額	20.0	36.0	44.0	△ 24.0	12.0	36.0	52.0	△ 40.0	12.0	60.0	28. 0	△ 16.0			
2 採 算 (営 業 利 益)	12. 0	56.0	32.0	△ 20.0	8.0	56.0	36.0	△ 28.0	12.0	64. 0	24. 0	△ 12.0			
3 資 金 繰 り	4.0	84. 0	12.0	△ 8.0	0.0	76. 0	24. 0	△ 24.0	4. 0	88. 0	8. 0	△ 4.0			
4 業 況	16. 0	64.0	20.0	△ 4.0	12.0	48.0	40.0	△ 28.0	12.0	52. 0	36. 0	△ 24.0			

注)	nd Mit	上昇・好転	— 不変	」 減少・低下	. mi//

						今期の状況	
					過剰気味	充足	不足
5	人			手	4.0	28. 0	68. 0
					実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6	価	格	転	嫁	28. 0	56.0	16.0
					実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7	賃	Ŧ	:	げ	36. 0	36. 0	28. 0

2. 新規設備投資 (%)

	実施・計画	実施・計画						
	した	土地	建物	機械設備	車輌・重機	T機器・システ.	その他	していない
1 今 期	86. 1	9. 7	9. 7	9. 7	32. 3	35. 5	3.2	13. 9
2 来 期	48. 3	0.0	21.4	0.0	42. 9	35. 7	0.0	51. 7

3.経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1位 2	:位 3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	36. 0 0.	. 0 14. 3	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者や大型店との競合激化	0.0 0.	0.0	10 支払利息の負担増	0.0	4.3	0.0
3 受注 (客) 単価の低下	4. 0 0.	0.0	11 売 掛 金 の 回 収 難	0.0	0.0	0.0
4 原 材 料 等 の 調 達 難	0.0 4.	. 3 0. 0	12 事業資金の借入難	0.0	0.0	4.8
5 原材料等価格の上昇	16. 0 30	0.4 14.3	13 従業員の確保・定着難	36. 0	8.7	19.0
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	0.0 17	7. 4 23. 8	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	0.0	4. 3	4.8
7 価 格 転 嫁 難	0.0 0.	. 0 9. 5	15 そ の 他	0.0	0.0	0.0
8 A 佐 豊 の 🛱 加	8.0 30	0.4 9.5				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・公共事業の動向について不安 ・民間工事・公共工事ともに建設業全体の動きが鈍い。トランブ関税の影響はわからない。

《製 造 業》													
1. 売上・採算・資金繰り等の状況												(%)	
				I 今打	期の状況				Ⅱ 来期の見通し				
	~3月期)と比べ]~6月期)の状況			F同期(令和6年4 今期(令和7年4月				·期(令和7年4月 ·期(令和7年7月					
	1	_	↓	D•I	1		1	D•I	1	_	1	D · I	
1 売 上 額	24. 2	33. 3	42. 4	△ 18.2	21. 2	27. 3	51. 5	△ 30.3	27. 3	45. 5	27.3	0.0	
2 採 算 (営 業 利 益)	15. 2	39. 4	45. 5	△ 30.3	15. 2	36. 4	48. 5	△ 33.3	18. 2	48. 5	33. 3	△ 15.2	
3 資 金 繰 り	9. 1	69. 7	21. 2	△ 12.1	9. 1	54. 5	36. 4	△ 27.3	12. 1	60.6	27.3	△ 15.2	
4 業 況	17. 4	56. 5	26. 1	△ 8.7	17. 4	47.8	34. 8	△ 17.4	13.0	56. 5	30.4	△ 17.4	
					•		注)	↑ 増加・上	昇・好転 -	- 不変 ↓	減少・低下・	悪化	

a Mari Sala Sila sa

						今期の状況	
					過剰気味	充足	不足
5	人			手	6. 1	57. 6	36. 4
					実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6	価	格	転	嫁	9. 4	56. 3	34. 4
					実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7	賃	上		げ	45. 5	18. 2	36. 4

2. 新規設備投資 (%)

	実施・計画		実施・計画					
	した	土地	建物	機械設備	車輌・重機	T機器・システ	その他	していない
1 今 期	54. 1	0.0	20.0	35. 0	15.0	25. 0	5.0	45. 9
2 来 期	43. 2	0.0	31. 3	6. 3	0.0	56. 3	6. 3	56. 8

3.経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点 1位 2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	57.6	6.7	3.4	9 商品(製品)在庫の過剰 0.0 0.0	0.0
2 新規参入業者や大型店との競合激化	0.0	0.0	0.0	10 支 払 利 息 の 負 担 増 0.0 3.3	0.0
3 受注 (客) 単価の低下	0.0	6.7	0.0	11 売 掛 金 の 回 収 難 0.0 0.0	3.4
4 原 材 料 等 の 調 達 難	9. 1	0.0	6.9	12 事業資金の借入難 0.0 3.3	3.4
5 原材料等価格の上昇	3.0	33. 3	10.3	13 従業員の確保・定着難 12.1 3.3	17. 2
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	9. 1	3. 3	13.8	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化 0.0 16.7	24. 1
7 価 格 転 嫁 難	0.0	6.7	6. 9	15 そ の 他 0.0 0.0	0.0
8 人 件 費 の 増 加	9. 1	16.7	10.3	A) Are possible timber 1 per per la significación l'Alba parte.	

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・関税の影響で自動車金型が受注が減少し大きな問題。
- ・調達難は解消されているが、価格の上昇が続き、トランプ関税との影響も見えない中今後の動向は不透明。

- ・調産難は解消されているが、価格の上昇が続き、トフンプ関税との影響も見えない甲今後の動向は小透明。 ・自動車関連の企業が設備投資を保留。その為売上減少が見込まれる。 ・太陽光発電関連の事業を行っていますがトランプより国内の総理大臣問題で太陽光発電の反対とか言ってる議員(高市)が いるのが心配です。本当に環境より原発の稼働を押し進めているのがみえみえではないでしょうか。 ・国内は最低賃金を引き上げる環境にない状況であり租税公課のみ高騰し中小企業の利益を圧迫する考えしかない。また倒産することは既に必然として対応していると思われる。 今回の最低賃金引き上げによる資金繰りの悪化を多少なりとも緩衝する為、会社の就業時間短縮に踏み込んだ。更に来年度も就業時間短縮で対応していくほか延命する方法はないと考えている。外交人材に 関し でも安い労働単価と世間一般は捉えているようだが、受け入れ条件としては日本人と同様若しくはそれ以上の待遇が義務つけられているので、それは政府の間違ったプロバガンダと言えます。間違った働き方改革で 日本人労働者の就労にプレーキをかけ外国人材を求める口実にしている。
 ・とにかく米の価格に左右される

≪卸一売 業≫															
1. 売上・採算・資金繰り等の状況	1. 売上・採算・資金繰り等の状況 (%)														
				I 今其	朝の状況				Ⅱ 来期の見通し						
		前期(令和7年1月 今期(令和7年4月				同期(令和6年4 今期(令和7年4月				期(令和7年4月 期(令和7年7月					
	1	_	↓	D•I	1	_	↓	D·I	1	_	↓	D•I			
1 売 上 額	41.2	41. 2	17.6	23. 5	35. 3	35. 3	29. 4	5.9	17.6	64. 7	17.6	0.0			
2 採 算 (営 業 利 益)	29. 4	58. 8	11.8	17. 6	23. 5	58.8	17.6	5.9	17. 6	64. 7	17. 6	0.0			
3 資 金 繰 り	0.0	94. 1	5. 9	△ 5.9	0.0	82. 4	17.6	△ 17.6	0.0	88. 2	11.8	△ 11.8			
4 業 況	11.8	82. 4	5. 9	5. 9	11.8	76. 5	11.8	0.0	5. 9	82. 4	11.8	△ 5.9			
			•				注)	↑増加・上	昇・好転 -	- 不変 ↓	減少・低下・評	悪化			

						今期の状況	
					過剰気味	充足	不足
5	人			手	0.0	70.6	29. 4
					実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6	価	格	転	嫁	17. 6	64.7	17.6
					実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7	賃	上		げ	17. 6	41.2	41. 2

2. 新規設備投資

	実施・計画							実施・計画
	した	土地	建物	機械設備	車輌・重機	T機器・システ.	その他	していない
1 今 期	52. 6	10.0	10.0	30.0	30.0	20.0	0.0	47. 4
2 来 期	41.2	0.0	14. 3	0.0	42.9	28.6	14. 3	58. 8

3.経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	41. 2	0.0	0.0	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	15. 4
2 新規参入業者や大型店との競合激化	5. 9	11.8	7. 7	10 支払利息の負担増	0.0	5. 9	7. 7
3 受注 (客) 単価の低下	0.0	0.0	0.0	11 売 掛 金 の 回 収 難	5. 9	0.0	15. 4
4 原 材 料 等 の 調 達 難	0.0	0.0	0.0	12 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
5 原材料等価格の上昇	0.0	5. 9	23. 1	13 従業員の確保・定着難	11.8	17. 6	7. 7
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	5. 9	35. 3	0.0	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	5. 9	5. 9	7. 7
7 価 格 転 嫁 難	5. 9	0.0	0.0	15 そ の 他	0.0	0.0	7.7
8 人 件 豊 の 増 加	17.6	17.6	7 7				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4. 業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等) ・最低賃金の上昇が想定を上回っている

	≪小 売 業≫ . 売上・採算・資金繰り等の状況 (%)														
1. 売上	:・採算	・資金繰り等の状況					I 今j	期の状況					Ⅱ 来期	の見通し	(%)
					前期(令和7年1月~3月期)と比べた 今期(令和7年4月~6月期)の状況 前年同期(令和6年4月~6月期)の状況 今期(令和7年4月~6月期)の状況							今期(令和7年4月~6月期)と比べた 来期(令和7年7月~9月期)の見通し			
				1	_	\downarrow	D·I	1	_	Ţ	D•I	1	_	\downarrow	D · I
1	売	上	額	25. 0	47. 9	27. 1	△ 2.1	33. 3	35. 4	31. 3	2. 1	25. 0	41.7	33. 3	△ 8.3
2	採算	. (営業利益	益)	22. 9	54. 2	22. 9	0.0	25. 0	52. 1	22. 9	2. 1	22. 9	52. 1	25. 0	△ 2.1
3	資	金 繰	ŋ	4. 2	79. 2	16. 7	△ 12.5	12. 5	68. 8	18.8	△ 6.3	10.4	70.8	18.8	△ 8.3

22.9

54.2

22.9

0.0

↑ 増加・上昇・好転 一 不変 ↓ 減少・低下・悪化

54.2

31.3

△ 16.7

14.6

						今期の状況	
					過剰気味	充足	不足
5	人			手	0.0	51.1	48. 9
					実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6	価	格	転	嫁	19. 6	52. 2	28. 3
					実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7	賃	Ŧ	:	げ	20.8	25. 0	54. 2

12.5

64.6

22.9

2. 新規設備投資 (%)

	実施・計画							実施・計画
	した	土地	建物	機械設備	車輌・重機	T機器・システ	その他	していない
1 今 期	36. 4	0.0	15.0	30.0	15.0	40.0	0.0	63. 6
2 来 期	34. 6	0.0	0.0	5.6	38. 9	38. 9	16. 7	65. 4

△ 10.4

3. 経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1位	2位	3 位	経営上の問題点	1位	2位	3 位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	36. 4	19.5	5. 1	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者や大型店との競合激化	4.5	7.3	5. 1	10 支払利息の負担増	0.0	4. 9	0.0
3 受注 (客) 単価の低下	2.3	12. 2	5. 1	11 売 掛 金 の 回 収 難	2.3	0.0	2.6
4 原 材 料 等 の 調 達 難	2.3	4. 9	5. 1	12 事業資金の借入難	2.3	0.0	0.0
5 原材料等価格の上昇	13.6	0.0	0.0	13 従業員の確保・定着難	15.9	2.4	12.8
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	11.4	0.0	2.6	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	0.0	2. 4	28. 2
7 価格 転 嫁 難	0.0	2.4	12.8	15 そ の 他	0.0	0.0	2.6
8 人 件 費 の 増 加	9 1	0.0	2.6				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・おそらく節約も大切だが、お金を使いたい欲求もある。最低賃金が1033円になると人件費そのものに利益を使うことになるので、より一層、営業に

4 業

- ・おそちく動約も大切だか、お金を使いたい歓求もある。 放低資金か 1 0 3 3 円になると人件費そのものに利益を使っことになるので、より一層、宮業に 力をいれなければならなくなる ・従業員は給料が上がっていいが、経営側は大変。経営側に補助が欲しい。 ・縦ばい体のすい退で今後の見通しは暗い。が、思っていたほど購読の減少がいちじるしくはない。 ・最低資金の上昇により、来春のペースアップをいくらにすればいいのか、懸念します。 ・茶の仕入れ価格の高騰問題。前年より 3 ~ 4 倍 ・アサヒビールのサイバー攻撃による商品供給の影響が心配です。アサヒビールだけにとどまらず、他社にも影響が出ているため、年末の最忙期を迎え心配しています。 米価高騰による清酒価格の上昇、珈琲豆の原料価格の高騰など物価上昇による買い控え等を心配しています。 ・輸入ものがコスト高。夏が高温だった為、外出びかえで来店数が少なかった。

				≪サー≀	ごス業≫							
1. 売上・採算・資金繰り等の状況												(%)
				I 今		Ⅱ 来期の見通し						
		j期(令和7年1月 今期(令和7年4月				三同期(令和6年4 今期(令和7年4月					~6月期)と比べ ~9月期)の見通	
	1	_	\downarrow	D•I	1	_	1	D·I	1	_	\downarrow	D•I
1 売 上 額	35. 3	31. 4	33. 3	2. 0	32.0	48. 0	20.0	12.0	28. 0	58. 0	14. 0	14. 0
2 採 算 (営 業 利 益)	26. 0	40.0	34.0	△ 8.0	22. 4	55. 1	22. 4	0.0	18. 4	65. 3	16. 3	2. 0
3 資 金 繰 り	12.0	64.0	24.0	△ 12.0	14.3	69. 4	16.3	△ 2.0	10. 2	77.6	12. 2	△ 2.0
4 業 況	20.0	48. 0	32. 0	△ 12.0	18. 4	61. 2	20. 4	△ 2.0	12. 2	71. 4	16. 3	△ 4.1
							注)	↑増加・上	昇・好転 -	- 不変 ↓	減少・低下・評	悪化

					今期の状況						
					過剰気味	充足	不足				
5	人			手	0.0	50.0	50. 0				
					実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施				
6	価	格	転	嫁	16. 3	30.6	53. 1				
					実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施				
7	賃	上		げ	14. 6	22. 9	62. 5				

2. 新規設備投資 (%)

	実施・計画							実施・計画
	した	土地	建物	機械設備	車輌・重機	T機器・システ	その他	していない
1 今 期	39. 6	0.0	9. 5	19.0	42.9	23.8	4.8	60. 4
2 来 期	30. 2	0.0	0.0	12. 5	37. 5	37. 5	12.5	69. 8

3.経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1 位	2位	3位	経営上の問題点	1 位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	25. 5	8. 3	8. 7	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者や大型店との競合激化	3. 9	2. 1	2. 2	10 支払利息の負担増	0.0	4. 2	4.3
3 受注 (客) 単価の低下	2.0	0.0	4.3	11 売 掛 金 の 回 収 難	0.0	2. 1	0.0
4 原 材 料 等 の 調 達 難	0.0	0.0	0.0	12 事業資金の借入難	0.0	2. 1	2.2
5 原材料等価格の上昇	17.6	29. 2	6.5	13 従業員の確保・定着難	13. 7	10.4	13.0
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	11.8	10.4	13.0	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	9.8	10.4	13.0
7 価 格 転 嫁 難	5. 9	10.4	10.9	15 そ の 他	0.0	0.0	4.3
8 人 件 費 の 増 加	9.8	10.4	17.4	NO WELL BUILDING TO LICENTE A SIDE			

注) 各項目の数値は四捨五入しているため 計の数字が合わたい場合があります

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・最低賃金の上昇が想定を上回っている
- 管理職担い手不足

- ・ 官理職位い手不足 ・原材料の値上りにぴっくりしている 質を落としたくないし悩ましい ・トリートメントのグレードを下げる人がある。 ・最低質金100回円に突入し、2030年までに1500円にすると呆れている。同業者と我慢比べが競争である。 ・人件費以外の車両、修繕、燃油、消費税が高い。
- ・ 旧等の管理、IT関係に詳しい人材が不足している。 ・現在は良いが来期どうなるか不安である。 ・物価高、最低賃金上昇など

- ・ホームページやチラシ(内容)が古くなっているが、資金が当てられない!